

闘争方針書

東交ノ兄弟ニ對シ將ニ打テ下サレントスル人件費貳百萬圓削減  
 壹千六百名ノ大彈壓ハ獨リ東交丈ケノ問題ニ非ラズシテ實ニ行詰  
 レル全交通機關ノ背後ニ君臨スル日本資本主義金融ブルジョアジ  
 ー側面前夜ニ於ケル最後ノモガキデアリ全日本交通労働者ニ對ス  
 ル全面的攻撃ノ前哨戦デアル  
 斯ル狀勢ニ於テ吾々ハ一大奮起シ當然大阪ニ來ルデアラウ彈壓ヲ  
 明確ニ認識スルト共ニ闘争ヲ分散セシメンガ爲メノ計劃的ナ隠謀ヲ  
 粉碎シテ臆測スルコトナク陣營ヲ立直シ戰時編成シテ堂々斷乎セ  
 ネストヘ乗り出シ應援ト自ラノ生活防衛ノ爲メ死ヲ賭シテ奮ヒ立  
 ツベキデアル。故ニ當面ノ闘争方針トシテ次ノ如ク規定シ實踐的  
 行動ヲ強烈ニ要求スル  
 一、暴動、宣傳、煽動  
 東京交通ノ兄弟ニ下サレントスル大彈壓ハ決シテ他ノ交通労働

者ト闘争ナキ東交丈ケノ問題デハ斷ジテナイ。爲メ同情者タハ  
 應援ノ闘争ト實ニ程度ニ止マラントスル大衆ノ自然成長的意識  
 ヲ自分自身ノ闘争トシテセネストエヨウテ共ニ闘フ意識ニマデ  
 高メネバナラヌ

急速ニ戦場ニ於テ計劃的ニ組織會グループ會等ノ大衆的集會ヲ  
 組織シ東交ノ彈壓ト全交通労働者トノ利害關係ヲ今一應充分ニ  
 大衆ヘ徹底セシメムコトヲ必要デアル。

三、戦場内ニ於ケル不平不満ト日常闘争ノ激發

單ニ東京市電ニ下ル彈壓ノ暴露宣傳煽動ノミデハ大衆ヲセネス  
 トニ奮ヒ起タンメル事ハ甚ダ至難デアル現在東京市電ニ於ケル  
 程ノ問題ハナイガ然レ日常不斷ニ加ヘラレツツアル資本家ノ政  
 策ニ對スル不滿意要求ハ各戦場ニ限リナクアル

此ノ戦場ニアル日常問題ノ不平不満ヲ誘發激化セシメ活潑ナル  
 日常闘争ヲ計劃的ニ進進シ大衆ノ闘争力ヲ高メルト共ニ一致ト